

平成27年8月26日

この度、公益財団法人JKA様の競輪の補助金による  
平成27年度福祉機器の整備事業が完了いたしました。

公益財団法人JKA様をはじめとする関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

補助事業番号	27-2-14
補助事業名	平成27年度福祉機器の整備 補助事業
補助内容	特殊浴槽一式
補助金額	4,790,745円
事業費総額	6,425,460円
団体名	社会福祉法人東海（シャカイフクシホウジントウカイ）
住所	〒476-0011 愛知県東海市富木島町藤ノ棚1番地の1
代表者	理事長 小嶋 洋一（リジチョウ コジマヨウイチ）
担当者名	事務主幹 谷口 等（タニグチ ヒトシ）
電話番号	052-601-9621
FAX	052-601-9623
E-mail	tokuyo@tokainosato.jp
URL	<a href="http://www.tokainosato.jp/">http://www.tokainosato.jp/</a>

## 1 補助事業の概要

### （1）事業の目的

2台あるリフト式特殊浴槽は、平成6年の開所以来使用し続けており、経年劣化による故障が頻繁となり、平成26年5月にオーバーホールを致しましたが、メーカーからはメイン装置の油圧式ポンプが不調となった場合は部品が無い場合、修理はもうできないと言われておりました。また、仰臥位での入浴業務は、特殊浴槽でなければ、介護職員にとって職業病ともいえる腰痛を悪化させてしまいますので、公益財団法人JKA様の補助を得て、特殊浴槽1台の更新をしようとしたものです。

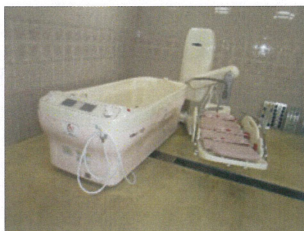
さらに、仰臥位での入浴業務は、特殊浴槽内では腰に負担を掛けることなくスムーズに、安心安全な介助をすることができるものの、介護職員にとって、ご利用様を脱衣台からストレッチャーへ移乗する時、ストレッチャーから洗浄台へ移乗する時は腰に負担が掛かっておりましたが、移乗用補助具を導入することで腰への負担を軽減しようとしたものです。

## (2) 実施内容

### 特殊浴槽一式



(玄関)



(特殊浴槽、リフト、洗浄台)



(特殊浴槽のアップ)



(洗浄台のアップ)



(リフトのアップ)



(使用方法のデモンストレーション風景)

特別養護老人ホームの定員90名の内44名、短期入所生活介護事業所の定員10名の内2名、通所介護事業所の定員18名の内2名のご利用者様が特殊浴槽による入浴を必要とされ、リフト式特殊浴槽を整備したことにより、ご自宅では味わえない、ゆったりとした入浴を、安心して楽しむことができ、ご利用者様の快適な生活環境の向上に大いに役立たせていただいております。

入浴は各々週2回となっており、入浴の無い水曜日を除く毎日平均16名のご利用者様が、2台ある特殊浴槽で入浴をされておられ、2台の内1台は、今回公益財団法人JKA様の補助を得て購入した特殊浴槽です。



(移乗用補助具ローラスライドフレキシの使用例)

さらに、移乗用補助具のローラスライドフレキシ（ご利用者様を乗せた筒状のシートが本体の周りをキャタピラーの様に回ること、ご利用者様に不安を与えることなく、軽い力で押したり引いたりできるもの）を使うことで、脱衣台からストレッチャー

一へ、また、ストレッチャーから洗浄台への移乗をご利用様に不安を与えずスムーズに行えており、介護職員からは腰への負担が大いに軽減できていると喜びの声が上がっております。

## 2 予想される事業実施効果

2台あるリフト式特殊浴槽の内、1台を更新したことにより、経年劣化による故障が原因で入浴が楽しめなくなるというご利用者様の心配と、ご利用者様の生活環境を維持できなくなるという介護職員双方の心配が払拭され、仰臥位での入浴しかできないご利用者様が継続して、安心安全な入浴を楽しんで頂けるようになり、ご利用者様の生活環境の維持、向上に大いに役立てることとなります。また、移乗用補助具のローラスライドフレキシを導入したことにより、業務の流れを止めることなく移乗をスムーズに行え、同時に介護職員の腰への負担が軽減されることが実証されたことにより、事業所における介護職員の腰痛対策意識をさらに高めることとなります。